

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ドレミファディサービス		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 13日 ~ 令和 8年 1月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 19日 ~ 令和 8年 1月 23日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	いつでも情報伝達・共有や相談ができる	成功例やそうでなかつたことも、経緯を・経緯を踏まえて情報共有するようにしている。 話しやすい環境づくり、みんなで共有することで「チームでの支援」がより意識できるようにしている。	
2	グループホームと併設しているので、多くの人と関わりを持つことができる。 イベントを合同で実施している。	芋に会や夏まつりの合同開催で、様々な年代の方との関わりを体験することができる。	
3	クールダウンや勉強等の個別活動に使える部屋がある。	静かな空間を好んだり気持ちを落ちかせることができるの で、集団活動のバランスが取りやすい。	

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	屋外での活動をもっと充実させたい。	天候や利用児の状況により活動内容変更が必要となることが あった。 現在の活動に加えて、新たな活動先を開拓していくことが必 要。	活動内容を具体的に検討する。 活動を検討する時間を設ける。
2			
3			

		公表	保護者等からの事業所評価の集計結果						
事業所名		トレミファディサービス	公表日 令和8年2月12日						
			利用児童数			14	回収数		12
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	2	1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	3					
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	10	2					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	2					
	7	子どものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12						
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	3					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	3	1			
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12						
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	6	1	1			
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	12						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		11				
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	2					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	2					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8	2		2			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	3					
非	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1					

常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1		1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	3				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	12					

事業所における自己評価結果						
事業所名		公表			令和8年2月12日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	朝礼で話し合いをしながら進められています。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	毎日の掃除と消毒をしっかりと行なっています。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個別の空間として使えるスペースがあります。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	毎日のミーティングで児童の様子について全職員参加して話し合っています。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	年1回実施のアンケートをもとに、頂いたご意見を業務改善につなげています。	ご家族のご意見を聞き、業務改善につなげていきます。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		いつでも相談できる体制を整えています。タイムリーに上司へ相談し業務改善につなげています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	施設外研修からの伝達研修の他、支援に必要な内容について情報提供と勉強会を実施しています。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページで公表しています。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		ご本人とご家族との面談を行ない、計画を作成しています。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		適宜支援会議を開催の他、ご家族やご本人の意思を尊重した検討をおこなっています。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画に沿った支援を行うことが出来るよう、共有をおこなっています。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		支援内容に5領域を明示した計画を作成しています。	個々のニーズに応じた具体的な支援内容を設定できるよう、今後も継続していきます。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		活動プログラムを全体で話し合いを重ねて進めています。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		こどもたちの成長や変化に合わせて柔軟に対応しています。		
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		子どもたちの状況に応じて、空間設定や遊びの組み合わせを対応できるように支援しています。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		翌日までの様子と当日の役割分担を朝ミーティングで共有しています。		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	支援の様子は記録にして共有しています。気づいた点は都度ミーティングを行い共有しています。		

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	気づいたことや変化を逃さず業務日報・実施記録へ記録するようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	定期的にモニタリングをおこなっています。状態の変化があった時もモニタリングをおこない、支援を検討しています。	
	24	放課後等ディサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	子どもたちの状況に合わせて組み合わせて支援を行っています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	選択肢の提示の仕方に工夫をしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	管理者・児童発達支援管理責任者が主に参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	各関係機関との連携を図るために努めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	学校との連絡会に参加し、運営無く調整が適宜行われるように努めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	利用開始時にそれ以前の生活歴等の情報を共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等ディサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	卒業後の進路先への情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	地域の子供たちとの交流・活動の機会を検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	庄内町自立支援協議会に参画しています。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	送迎時に伝達を行なっています。ご家庭での様子を参考に今後の支援の進め方について一緒に検討しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	研修等の情報があれば資料を配布しています。 ご家族の困り感をよく傾聴しています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	書類をもとに読み合わせを行い説明しています。	
	37	放課後等ディサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	送迎の時の他、いつでもお話を聞けるようにしています。ご本人やご家族の意向を確認する機会を作っています。	
	38	「放課後等ディサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等ディサービス計画の同意を得ているか。	6	個別支援計画(案)を見ながら説明をし、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	いつでもご相談いただけるようにしています。必要に応じて、面談や助言を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3	ご家族・きょうだい児と一緒に参加いただけるクリスマス会を開催しています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	苦情相談窓口について契約時に説明をしています。相談等があった際は適切に対応するよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	毎月のおたよりの発行で、活動の様子をお知らせしています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	書類管理についてはもちろん、個人情報を守るように会話等も十分配慮しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	コミュニケーションが苦手な方へは書類でもやり取り等で情報伝達できるよう配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	地域との交流はない
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	マニュアルの共有と訓練を実施しています。	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	BCPを策定し、非常災害を想定して避難や訓練を行なっています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	服薬や予防接種、体調面についてのアセスメントを行ない、変更点については随時情報共有を行なっています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	医師の指示を受けたご家族のお話を聞き、対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	安全計画を作成し、必要な研修や君r年を行なっています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	書面等での情報提供を行なっています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	外部研修をもとに内部で伝達研修を行なっています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	外部研修をもとに内部で伝達研修を行なっています。	